

[成果情報名] 中輪、桃花、丁字咲きの鉢物用マーガレット新品種「伊豆 39 号」

[要 約] 交雑育種法により、早生性で中輪タイプ、桃花、丁字咲きの鉢物用新品種「伊豆 39 号」を育成した。本品種は、年内から開花し、草姿がコンパクトで、現地の適応性も高いことから、鉢物用品種として有望である。

[キーワード] 鉢物、マーガレット、新品種、交配育種

[担 当] 静岡農林技研・伊豆研セ・栽培育種科

[連絡先] 電話 0557-95-2341、電子メール agriizu@pref.shizuoka.lg.jp

[区 分] 野菜・花き（花き）

[分 類] 技術・普及

[背景・ねらい]

鉢物用マーガレットは静岡県東部地域の鉢物主力品目として生産されている。一方で、多彩な花色や特徴ある花型で年内から開花する品種の育成が求められている。このため、交雑育種により優れた特性を持つ鉢物用マーガレットの新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 育成経過：2012 年に静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センターにおいて、「10-3-13」を種子親とした自然交雑種子を得た。種子を播種して得られた 217 個体から 2 個体を優良個体として選抜した。選抜個体を系統とし、所内および現地ほ場で生育および開花特性に注目して選抜を行った。その結果、桃色の丁字咲きタイプ「P12-114-1」は鉢物品種として有望性が認められたため、育成系統候補「伊豆 39 号」とした（図 1）。
- 2 生育特性：「伊豆 39 号」は、丁字咲きで中輪タイプの桃花で、年内から開花する。また、分枝性に優れており鉢物用に向く（表 1、図 2）。
- 3 現地適応性：「伊豆 39 号」は、花色、花型が優れており、鉢物向けの草姿で、年内出荷が可能な鉢物用品種として評価された（表 2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 種苗法による品種登録を出願予定であり、栽培にあたっては静岡県との許諾契約が必要である。

[具体的データ]

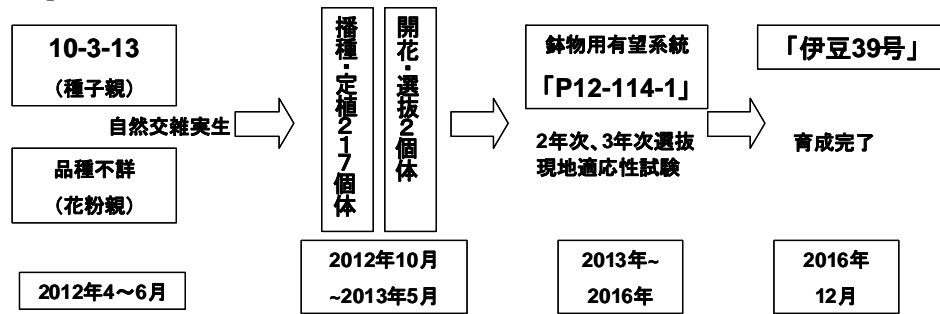


図1 マーガレット「伊豆 39 号」の育成経過

表1 「伊豆 39 号」の生育開花特性(所内試験)^{1),2)}

系統名・品種名	開花日	花色	花型	花径 (mm)	草丈 (cm)	株張 (cm)	花首長 (cm)	一次分枝数 (本)
「伊豆39号」	11月13日	桃	丁字	48.7	50.0	38.8	7.5	7.3
サンデーリップル ³⁾	10月30日	白	一重	43.5	44.0	47.8	15.8	4.0
キューティーマイルス ³⁾	11月1日	桃	丁字	42.0	44.7	38.8	11.7	3.7

- 1) 作型は、6月13日～17日挿し芽、7月21日5号ポリポットに鉢上げ、8月2日摘心。
- 2) 各系統3株調査
- 3) 対照品種

表2 「伊豆 39 号」の生育開花特性^{1),2)}および現地生産者の評価³⁾(現地試験)

系統名・品種名	開花時期	花色	花型	花径	草丈	現地生産者の評価
「伊豆39号」	9月下旬	桃	丁字	中	中	花色が良い、花型が安定している (Z, Y, X, W, V) 草姿のバランスが良い (Z, Y) 分枝に優れる、増殖効率が良い (Z) 栽培期間を通じて花径・花色の変化が少ない (Z) 花色の退色が少ない (V)
サンデーリップル ⁴⁾	9月中旬	白	一重	小	低	
キューティーマイルス ⁴⁾	10月中旬	桃	丁字	小	中	

- 1) 沼津市生産者ほ場での特性。6月中旬挿し芽、7月1日3.5号ポリポットに鉢上げ、7月中旬摘心。
- 2) 各系統10株を調査。花径、草丈は「在来白」を基準に特性を記載(品種登録特性調査基準に準拠、9段階で評価)
- 3) 試作場所：沼津市(Z)、伊豆の国市(Y)、富士宮市(X)、三島市(W)、下田市(V)
- 4) 対照品種



図2 「伊豆 39 号」の開花時の草姿と花形

[その他]

研究課題名：マーガレット新品種育成と伊豆特産花きの生育特性の解明
 予算区分：県単
 研究期間：2016～2020年度
 研究担当者：勝岡弘幸、加藤智恵美